

東海・重イオン科学シンポジウム 2026 ―タンデム加速器成果報告会―

日程：2026 年 1 月 7 日（水）～8 日（木）

場所：日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所 先端基礎交流棟大会議室

プログラム

2026 年 1 月 7 日（水） 1 日目

13:05～13:50（45 分）加速器・将来計画

1) 開会挨拶 原子力科学研究所長 前田 敏克（5）

2) 東海タンデム加速器の運転と開発（15+5）

中村 暢彦 (JAEA)

3) 将来計画―東海重イオン科学フロンティア施設―（15+5）

西尾 勝久 (JAEA)

【13:50～14:00（10 分）休憩】

14:00～15:00（1 時間）核物理・核化学

4) 変形閉殻原子核 ^{252}Fm のガンマ線核分光（15+5）

Riccardo Orlandi (JAEA)

5) ビッグバン元素合成における ^7Be 分解反応 $^7\text{Be}(n,p_1)^7\text{Li}$ の研究（15+5）

岩佐 直仁（東北大学）

6) 環境中の極微量人工放射性同位体測定のためのスパイク・トレーサー創製（15+5）

坂口 綾（筑波大）

【15:00～15:20（20 分）休憩】

15:20～16:20（1 時間）照射効果・材料物性

7) 高速重イオン照射による ZrO_2 相転移の XAFS 構造解析（15+5）

吉岡 聡（大阪公立大）

8) 高緻密性薄膜へのイオン照射で探る高温超伝導材料の最適組織（15+5）

松井 浩明（産総研）

9) 高エネルギーイオン照射した SiO_2 におけるナノ構造形成：TEM 観察研究（15+5）

石川 法人 (JAEA)

16:20～17:40 ポスターセッション（1 時間 20 分）

【18:30～20:30 懇親会（久慈サンピア日立）】

2026 年 1 月 8 日（木） 2 日目

9:00～10:20（1 時間 20 分）核物理・核化学

- 10) 理研における新元素合成研究（15+5） 森本 幸司（理研）
- 11) 加速器中性子を利用した RI 合成と ^{225}Ac の供給（15+5） 塚田 和明（東北大）
- 12) ^{258}Md 原子核の核分裂モード（15+5） 西尾 勝久（JAEA）
- 13) ^{254}Es のクーロン励起（15+5） 井手口 栄治（阪大 RCNP）

【10:20～10:40（20 分）休憩】

10：40～12:00（1 時間 20 分）

- 14) 半導体の放射線応答予測手法の改善研究（15+5） 河原 宏昭（JAXA）
- 15) 重イオン照射を活用した先端マグネトロニクス研究（15+5） 家田 淳一（JAEA）
- 16) 大強度電子加速器を利用した有用 RI 製造（15+5） 菊永英寿（東北大）
- 17) KEK 素核研和光原子核科学センターにおける核分光研究の現状（15+5） 渡辺 裕（KEK）

【12:00～13:00（1 時間）昼休み】

13:00～14:20（1 時間 20 分）照射効果・材料物性、原子物理

- 18) 高速重イオン照射によるシリカガラスのリング構造の変化（15+5） 栗津 浩一（産総研）
- 19) C_{60} イオン照射によるイオントラックの低エネルギー化・長さ増加・ドット形成（15+5） 雨倉 宏（NIMS）
- 20) 「高速荷電粒子照射における固体内散乱電子輸送過程」（15+5） 富田 成夫（筑波大学）
- 21) 「重イオン照射による磁性絶縁体の磁気加工」（15+5） 針井 一哉（QST）

【14:20～14:40（20 分）休憩】

14:40～16:00（1 時間 20 分）核物理・核化学

22) 超アクチノイド元素研究に向けた気相・液相化学的アプローチ (15+5)

佐藤 哲也 (京都大学)

23) 直接代理反応による中性子断面積の測定 (15+5)

牧井 宏之 (JAEA)

24) ^{211}At を利用した放射能・化学形同時分析技術の開発 (15+5)

瀬川 麻里子 (JAEA)

25) 反跳生成核分離装置を用いた多核子移行反応生成核のアイソマーと基底状態の生成比 (15+5)

洲崎 ふみ (JAEA)

閉会挨拶 研究基盤技術部 部長 永富 英記